

「◎」特にあてはまる  
「○」あてはまる

3つの視点			かわかる	もどめる	はたす	かわかる	もどめる	はたす	かわかる	もどめる	はたす	かわかる	もどめる	はたす	かわかる	もどめる	はたす		
各教科指導目標	国語	○	○		地理歴史	○	○		公民	○	○	○	○		数学	○	○	○	
	保健体育	○	○		芸術	○	○		外国語	○	○	○	○		家庭	◎	○	○	
理科	○	○		情報	○	◎		<p>言語文化に対する自覚的な敬愛の念を育み、論理的思考力および表現力、そして聞く力と伝える力を養う。</p> <p>世界や日本の社会の成り立ちを地理・歴史の観点から理解し、国際社会の中で、主体的に判断し行動する力を養う。</p> <p>現代社会の制度、現象、課題を深く理解し、人間としての在り方を考慮するとともに、社会の構成員としての資質を養う。</p> <p>基礎的な知識・技能の習熟を図り、様々な事象を数学的に考察し、自ら発展的に考えられる問題解決能力を育てる。</p> <p>自然に対する関心や探究心を高め、それらについて科学的に探究する能力と態度を育てる。</p> <p>主体的・対話的学習の中で、生涯にわたって心身の健康を保持増進するために、個人及び社会生活における健康・安全についての課題解決や豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を養う。</p> <p>音楽での諸活動をとおり、芸術的な感性を豊かにし、生涯にわたって音楽を愛好する心情を養う。</p> <p>英語学習をとおり、諸外国の文化に対する興味関心を深めるとともに、コミュニケーション能力を育成する。</p> <p>家庭や地域の生活課題を見だし、主体的に解決する方法を考え、男女が共に協力して生活を創造する能力と実践的な態度を育てる。</p> <p>氾濫する情報に惑わされることなく、コンピュータ等の情報技術を活用しながら、問題を解決する能力を育成する。</p>											
学年共通						かわかる	もどめる	はたす	各学年指導目標										
指導内容	① 遅刻防止・定時着席		○	◎	1年	○ 本校生としての自覚をもち、集団生活における協働の中で、想像力をもって主体的に自己実現を果たそうとする生徒を育成する。新時代を生き抜く力と自主自律の姿勢を育む。①「自分と向き合う力」を身に付けられるように支援・指導する。②「相手と向き合う力」を身に付けられるように支援・指導する。③「社会と向き合う力」を身に付けられるように支援・指導する。													
	② 清掃・奉仕活動への積極的参加	◎		○		2年	○ 本校生としての自覚を高め、集団生活における他者との協調の中で、主体的に自己実現を図ろうとする生徒を育成する。中堅学年としての自覚と責任を持たせ、校内外の諸活動に対して積極的に取り組ませる。新時代に対応できる資質・能力と自主自律の姿勢を身に付けさせる。①「自分と向き合う力」を身に付けられるように支援・指導する。②「相手と向き合う力」を身に付けられるように支援・指導する。③「社会と向き合う力」を身に付けられるように支援・指導する。												
	③ 挨拶の励行・端正な身だしなみ	◎		◎	3年		○ 最上級生としての責任を自覚させ、校内外の諸活動に対して積極的に取り組ませる。集団生活における他者との協調の中で、社会の一員として取るべき行動を身に付けさせる。新時代に対応できる資質・能力と自主自律の姿勢を身に付けさせる。①「自分と向き合う力」を身に付けられるように支援・指導する。②「相手と向き合う力」を身に付けられるように支援・指導する。③「社会と向き合う力」を身に付けられるように支援・指導する。												
	④ 家庭学習の定着		◎				3年	○ 最上級生としての責任を自覚させ、校内外の諸活動に対して積極的に取り組ませる。集団生活における他者との協調の中で、社会の一員として取るべき行動を身に付けさせる。新時代に対応できる資質・能力と自主自律の姿勢を身に付けさせる。①「自分と向き合う力」を身に付けられるように支援・指導する。②「相手と向き合う力」を身に付けられるように支援・指導する。③「社会と向き合う力」を身に付けられるように支援・指導する。											
	⑤ 課題提出の徹底		○	◎	3年	○ 最上級生としての責任を自覚させ、校内外の諸活動に対して積極的に取り組ませる。集団生活における他者との協調の中で、社会の一員として取るべき行動を身に付けさせる。新時代に対応できる資質・能力と自主自律の姿勢を身に付けさせる。①「自分と向き合う力」を身に付けられるように支援・指導する。②「相手と向き合う力」を身に付けられるように支援・指導する。③「社会と向き合う力」を身に付けられるように支援・指導する。													
	⑥ 館山タイム(朝読書)の充実	○	◎			3年	○ 最上級生としての責任を自覚させ、校内外の諸活動に対して積極的に取り組ませる。集団生活における他者との協調の中で、社会の一員として取るべき行動を身に付けさせる。新時代に対応できる資質・能力と自主自律の姿勢を身に付けさせる。①「自分と向き合う力」を身に付けられるように支援・指導する。②「相手と向き合う力」を身に付けられるように支援・指導する。③「社会と向き合う力」を身に付けられるように支援・指導する。												
指導内容		ねらい			指導教科等		実施時期	時数	かわかる	もどめる	はたす								
全	生徒会交流会	学年の枠を越えたコミュニケーション活動によって、相手を理解するとともに自分自身への理解を深める。			特別活動		4月	2	◎	◎									
1年	スタディサポート	学習習慣・意識・生活状況を振り返り、高校生活のスタートにあたっての目標を立てる。			特別活動		4月	5		○									
	交通安全講話	自ら、事故の未然防止や交通ルールの遵守ができるような態度の育成に努め、実践する。			特別活動		4月	1			○								
	キャリア探究1(夢ナビライブ、大学訪問など)	職業調べや進路講話、大学訪問をとおり、自己を理解し、自らの生き方を探究する。			総探		7、10月	15	○	◎									
	エンカウンター、ビブリオバトル	自己・他者・相互理解を深めることで、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力を養う。			特別活動		4、12月	3	◎	◎									
	スマホ安全教室	スマートフォンの使用上のルールやマナー、危険性を確認し、責任の自覚と問題意識の向上を図る。			特別活動		6月	1			○								
	進路講演会	1年生の折り返しにあたり、高校生としての更なる自覚を促し、進路について考える機会を与える。			特別活動		11月	1			○								
	制服着こなしセミナー	制服に関する意義や着方を具体化することで、社会や学校生活での制服の在り方を再認識する。			特別活動		9月	1			○								
	命の大切さを学ぶ教室	事件や事故の被害にあわれた方々の「命」をテーマにした講演を聴き、貴重な学びの機会を得る。			特別活動		10月	1			◎								
2年	交通安全講話	自ら、事故の未然防止や交通ルールの遵守ができるような態度の育成に努め、実践する。			特別活動		4月	1			○								
	キャリア探究2(大学・学部研究など)	大学の学問等について学び、自らの進路について考える。			総探		5～10月	6		◎									
	小論文作成	小論文について、講演と実践をすることで、記述能力の強化を図り、文章表現能力を身に付ける。			総探		9月	2		○									
	シチズンシップ教育	選挙運動についての講話を聞き、社会参画の意識を高める。また、契約について理解を深める。			特別活動		9月	2		○	○								
	修学旅行事前研究	古都京都を良く知るにより、日本の歴史や情緒に深くかわかる。			特別活動		6～11月	4	○										
	先輩の話を聞く	先輩の経験談を聞き、自分の進路について考えを深め、進路目標設定の参考にする。			特別活動		7～3月	1			○								
	共通テストガイダンス	共通テストについて知ることで、大学入試について意識させ、自分の進路について考えさせる。			特別活動		1月	1			○								
	進路講演会	最終年度を直前に、3学年での、進路目標達成に向けて意識高揚を図る。			特別活動		2月	1			○								
3年	ビブリオバトル	自己・他者・相互理解を深め、本への興味をとおり、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力を養う。			特別活動		12月	2	◎	◎									
	交通安全講話	自ら、事故の未然防止や交通ルールの遵守ができるような態度の育成に努め、実践する。			特別活動		4月	1			○								
	キャリア探究3(学修計画書作成)	将来の展望をふまえ、進路先における学修の目的を明確化し、計画を立案する。			総探		4～8月	8		◎									
	入試関係説明会(総合型・学校推薦型・共通テストなど)	大学入試についての具体的な説明により、進路意識の高揚を図る。			特別活動		6～12月	3			○								
進路講演会	本格的な受験シーズンに入る前に、自分の未来を改めて展望し、学習への意識高揚を図る。			特別活動		4～6月	1			○									
								合計時数	63										